人間総合科学研究群(人間)

前期_教育学学位プログラム

前期_心理学学位プログラム

前期_障害科学学位プログラム

※ 選考方法を確認してください。

科目の申請にあたっては、開設授業科目一覧の「申請条件」欄にかかわらず、ホームページ掲載の「選考方法について」を参照し、選考方法、面接までの流れを確認してください。

出願前に必ず教育組織に連絡し、面接日時等を確認してください。

学位プログラム名	受入有無	選考方法	面接者	面接日時（春学期）	面接日時（秋学期）	留意事項	連絡先
教育学学位プログラム（博士前期課程）	有	書類審査及び面接	授業担当教員	随時行う	随時行う	履修目的を明確にすること	jimu-education-mp@un.tsukuba.ac.jp（次世代SP/国際SP） 029-853-6745(教育基礎科学SP)
教育学学位プログラム（博士後期課程）	無						
心理学学位プログラム（博士前期課程）	有	書類審査及び面接	授業担当教員	随時行う	随時行う	出願書類を提出する前に事前連絡をすること	029-853-4597,人間系学系棟,A421
心理学学位プログラム（博士後期課程）	無						
障害科学学位プログラム（博士前期課程）	有	書類審査及び面接	授業担当教員	随時行う	随時行う	出願書類を提出する前に事前連絡をすること	dstdc@human.tsukuba.ac.jp
障害科学学位プログラム（博士後期課程）	無						

教育学学位プログラム(博士前期課程)

専門基礎科目(教育基礎科学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
OATAA05	生涯学習・社会教育学特講	1	2.0	1・2	春AB	火3,4		上田 孝典、丹間 康仁	近年における社会教育・生涯学習をテーマとした最新の研究動向を理解し、基礎的な理論と方法を習得することを目的とする。具体的には社会教育・生涯学習をめぐる学習理論研究、歴史研究、法制度の改正を踏まえた政策動向、地方自治体における生涯学習行政、住民自治や市民活動の展開、社会教育施設をめぐる実践動向など、受講者の関心に基づいた先行研究を取り上げ、討議によって検討を行う。このことを通じて社会教育・生涯学習の研究的視点を習得し、幅広い知識と方法論を身に付ける。	教室：人間系学系B棟B415			教育学学位プログラム(博士前期課程)	
OATAA08	教育制度学演習	2	2.0	1・2	春AB秋AB	水3		藤井 穂高	今日の我が国及び諸外国の教育改革における資質・能力論の現状とその理論的根拠について学術的研究に基づき説明できることを目標とする。具体的には、今日、我が国及び諸外国の教育政策において、資質・能力(コンピテンシー)論に基づく改革が主流となりつつある。そうした中で、現状の改革動向を踏まえたうえで、その理論的根拠がいかなるものかを、関係文献の読解を中心に検討する。具体的には、奈須正裕『「資質・能力」と学びのメカニズム』、国立教育政策研究所『資質・能力[理論編]』、OECDのキー・コンピテンシー論、グリフィン他『21世紀型スキル』とファデル他『21世紀の学習者と教育の4つの次元』である。	教室は人間系学系B棟B516			教育学学位プログラム(博士前期課程)	
OATAA09	学校経営学特講	1	2.0	1・2	春AB秋AB	木4		濱田 博文	本授業の内容は、小学校・中学校・高等学校、特別支援学校の学校経営に関する理論と現代的課題について学び、学校経営に関する研究の成果と課題について討議をおこなう。まず、学校経営に関する基礎理論およびその歴史的展開過程を、代表的な文献の講読を通じて理解する。次いで、小学校・中学校・高等学校の学校経営についての政策と実践に関する様々な文献や調査報告書等を参照しながら、現代的な課題について討議する。それらを踏まえて、これまでの学校経営研究の成果を確め、今後求められる研究課題について考える。	教室：人間系学系B棟B523/524			教育学学位プログラム(博士前期課程)	
OATAA10	学校経営学演習	2	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		濱田 博文	「これからの学校、学級、学びはどのようにあるべきか。子どもの発達をどのように支援すればよいのか。」このような問いから、学校経営、学校改善を中心としながらも、関連するトピックにも視界を広げて、共に学び、考える授業です。当然、学校が変わるためには、校長の役割だけでなく、国や自治体の教育行政の役割も大きいです。一方、学校におけるカリキュラム、教師の専門性や力量は重要なトピックです。本年度は、社会情動的学習とコンピテンシーの育成、ウエルビーイング、エージェンシーを着眼点として、様々な文献等を通して、学んで行く予定です。海外の動向にも目を向けて、同時に国内の事態にも着目し、教育学としての学びを深めていきます。	教室：人間系学系B棟B516 教育学学位プログラムの学生の受講も歓迎します。授業の使用言語は日本語です。			教育学学位プログラム(博士前期課程)	
OATAA12	比較・国際教育学演習	2	2.0	1・2	春AB秋AB	木3		タスタンベコワ アニシ	この授業では比較・国際教育学研究における諸理論を学び、研究の理論的枠組みの選定に関する理解を深める。比較・国際教育学研究における基礎理論、ポスト諸理論、理論的適応、インタディンプリナリ・アプローチなどの位置づけについて把握し、これらの諸理論の違いを理解する。具体的には「The Bloomsbury Handbook of Theory in Comparative and International Education」(Bloomsbury, 2021)を解説し、諸理論の知識を深め、英語での学術論文の書き方を学ぶ。	教室は人間系学系B棟B520			教育学学位プログラム(博士前期課程)	
OATAA17	教育方法学特講	1	2.0	1・2	春AB秋AB	火2		樋口 直宏	教育方法学に関する文献講読を通して、研究動向と課題について考察する。これを踏まえて、学習指導や授業分析に関する基礎的な知見を習得できるようになることを目標とする。具体的には、学習指導スキルに関する諸理論について、文献を読み進めながら発表および討議を行う。また、学校現場における授業観察や学習補助にも携わることが求められる。これらの取り組みを通じて、理論構築ならびに実践研究のデータ収集をあわせて行う。	教室は人間系学系B棟B410			教育学学位プログラム(博士前期課程)	
OATAA18	教育方法学演習	2	2.0	1・2	春AB秋AB	火6		樋口 直宏	受講者各自の発表と討議を通して、教育方法学に関する理論的および実証的研究を行う。これらを通じて、教育方法学および教職に関する応用的知見を習得できるようになることを目標とする。具体的には、授業分析および指導効果要因に関する理論等、受講者各自の関心のあるテーマについて、発表および討議を行う。また、学校現場やビデオにおける授業観察を取り入れ、授業分析の実際にも携わる。これらの取り組みを通じて、学校における実践方法についても習得できることを期待したい。	教室：人間系学系A棟A426			教育学学位プログラム(博士前期課程)	
OATAA19	キャリア教育学特講	1	2.0	1・2	春C	月3-6		藤田 晃之	今日のキャリア教育推進施策の特質と課題を明らかにすることを通じて、今日的課題についての理解を深めることを目標とする。具体的には、キャリア教育に関する基礎的な理解を前提としつつ、今日のキャリア教育推進施策関連文書を読み解くことを通じて、キャリア教育分野の研究課題を検討する。	教室：人間系学系B棟B520			教育学学位プログラム(博士前期課程)	
OATAA20	キャリア教育学演習	2	2.0	1・2	春AB秋AB	随時		藤田 晃之	今日的な研究課題に関する理解を前提として、学校におけるすべての教育活動を通じたキャリア教育の実践の在り方について理解を深め、研究者としての力量形成を図ることを目標とする。	教室：人間系学系B棟B520			教育学学位プログラム(博士前期課程)	
OATAA22	教育社会学演習	2	2.0	1・2	春AB秋AB	火3		徳永 智子	国内外の教育社会学や関連領域における理論・概念を学び、さまざまな教育現象を分析する視点や方法を身に付けることを目的とし、文献を読みながら、教育社会学研究の課題設定、問いの立て方、研究方法などについて学び、最終的には各受講者が学んだ視点や方法を取り入れた研究構想を発表する。具体的には、受講者の関心に合わせて、学校教育、教育問題、マイノリティと教育、グローバル化と教育、教育政策など多様な研究領域の文献を読み、教育社会学研究の成果や課題を議論する。毎回、学生が文献に基づく報告をし、全員で討議する。	教室は人間系学系B棟B520(集中講義の教室は別途案内予定)			教育学学位プログラム(博士前期課程)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
OATAA23	高等教育論特講	1	2.0	1・2	春AB秋A	木6		田中 正弘	授業のテーマは、大学教育の成果である。日本の大学教育に関するテキスト講義を通して、現在の課題（教育改革や質保証の在り方など）の解決方法を多機関比較の観点から議論することである。授業の到達目標は次の3つである。 (1) 日本の大学教育の特徴を説明できる。 (2) 現在の課題を発見し、その課題が生じた理由を論じられる。 (3) 課題の解決方法を他国の教育をモデルに提示できる。	教室は人間系学系B棟B520			教育学学位プログラム (博士前期課程)	
OATAA24	高等教育論演習	2	2.0	1・2	通年	応談		田中 正弘	授業のテーマは、学歴・学力格差である。春学期は、学歴・学力格差に関するテキストの講義を通して、格差はなぜ、誰にどのような形で生じているかの理解を深める。そして、その格差を埋めるためにどのような改革をすべきと考へられているのか、どのような改革がどのような結果をもたらしたのかについて、学生・教員を交えて議論する。秋学期は、種々の学生が現在の大学の課題をそれぞれ探求し、その課題が生じた理由を文献調査を踏まえて、レポートにまとめる訓練を行う。そして、最終レポートでは、独自に設定した課題の解決方法を他国の制度をモデルとして提示する。授業の到達目標は次の3つである。 (1) 日本の学歴・学力格差の特徴を説明できる。 (2) 学歴・学力格差の課題を発見し、その課題が生じた理由を論じられる。 (3) 課題の解決方法を他国の制度をモデルに提示できる。	教室は人間系学系B棟B523/524			教育学学位プログラム (博士前期課程)	
OATAY01	社会の課題と教育政策	4	1.0	1・2	春C夏季休業中	応談		古田 雄一、小松 孝太郎、名畑 真吾、勝田 光、唐木 清志、徳永 智子	地球規模課題の解決に向けての社会的な課題を検討するために必要な教育政策に関する基盤的事項について理解する。特に、現代社会における教育の役割及び教育政策の枠組みについて学ぶとともに、社会課題を解決するための教育政策と実践の具体的事例を知る。	英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) 世界展開力事業 CAMPUS-Asia6の参加学生のみを受講対象とする。英語で授業。	△	履修許可者のみ	教育学学位プログラム (博士前期課程)	
OATAY02	地球規模課題の実態	4	1.0	1・2	春C夏季休業中	応談		山本 容子、田中 マリア、國分 麻里、梅津 静子、辻村 真貴、廣田 充、内田 太郎、中村 潤児	この授業を通して、各関・各地が抱える地球規模課題を見つめる。まず、持続可能な開発目標(SDGs)をもとに、地球規模課題とは何かについて把握し、基本的な視点を共有する。その後、特に教育学、環境科学、物質科学の視点から、特に、人間・社会・国家間で生じる諸課題、自然環境と人間活動の間で生じる諸課題、新たな科学技術開発が必要な諸課題について検討する。 -教育学学位プログラム：人間・社会・国家間で生じる諸課題 -環境科学学位プログラム：水、生態系、災害・防災に関わる諸課題 -国際マテリアルズイノベーション学位プログラム：新たな科学技術開発が必要な諸課題	英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) 世界展開力事業 CAMPUS-Asia6の参加学生のみを受講対象とする。英語で授業。	△	履修許可者のみ	教育学学位プログラム (博士前期課程)	
OATAY03	社会の課題と教育政策	4	1.0	1・2	秋AB	応談		古田 雄一、小松 孝太郎、名畑 真吾、勝田 光、唐木 清志、徳永 智子	地球規模課題の解決に向けての社会的な課題を検討するために必要な教育政策に関する基盤的事項について理解する。特に、現代社会における教育の役割及び教育政策の枠組みについて学ぶとともに、社会課題を解決するための教育政策と実践の具体的事例を知る。	英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) 英語で授業。受講定員数25名を超えた場合は抽選とする。	△	履修許可者のみ	教育学学位プログラム (博士前期課程)	
OATAY04	地球規模課題の実態	4	1.0	1・2	秋AB	応談		山本 容子、田中 マリア、國分 麻里、梅津 静子、辻村 真貴、廣田 充、内田 太郎、中村 潤児	この授業を通して、各関・各地が抱える地球規模課題を見つめる。まず、持続可能な開発目標(SDGs)をもとに、地球規模課題とは何かについて把握し、基本的な視点を共有する。その後、特に教育学、環境科学、物質科学の視点から、特に、人間・社会・国家間で生じる諸課題、自然環境と人間活動の間で生じる諸課題、新たな科学技術開発が必要な諸課題について検討する。 -教育学学位プログラム：人間・社会・国家間で生じる諸課題 -環境科学学位プログラム：水、生態系、災害・防災に関わる諸課題 -国際マテリアルズイノベーション学位プログラム：新たな科学技術開発が必要な諸課題	英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) 英語で授業。受講定員数25名を超えたら抽選とする。	△	履修許可者のみ	教育学学位プログラム (博士前期課程)	
OATAY05	地球規模課題と教育政策	4	1.0	1・2	秋AB	NT		山本 容子、古田 雄一、國分 麻里、梅津 静子、小松 孝太郎、勝田 光、名畑 真吾、唐木 清志、上田 孝典、田中 マリア、徳永 智子	持続可能な開発目標(SDGs)を基に、人間・社会・国家間で生じる地球規模課題の理解を深めた上で、それらに深く関連する教育政策の動向を整理し解説する。	OATAY01、OATAY02、OATAY03、OATAY04との重複履修不可。 英語で授業。 短期留学生向け科目。 英語で授業。 遠隔授業：オンライン(オンデマンド型)	△	短期留学生向けのため	教育学学位プログラム (博士前期課程)	
OATAY51	教育実践研究の課題 I	4	1.0	1・2	春BC夏季休業中	集中		藤井 穂高、大谷 奨、唐木 清志、濱田 博文、丹間 康仁、平井 悠介、朝倉 雅史、古田 雄一	今日の教育課題に対する専門的な知識に関する知見を深めるとともに、議論を通して、教育課題の解決に関する方策等を検討する。	6/14、6/21、6/28、7/5、7/12、7/19、7/26、8/2			教育学学位プログラム (博士前期課程)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
OATAY52	教育実践研究の課題Ⅱ	4	1.0	1・2	夏季休業中 秋AB	集中		タスタンベコワ クアニシ 徳永 智子 朝倉 雅史 濱口 佳和 米田 宏樹 三丞 亜美 仲田 真理子 飯 田 順子 藤 桂	今日の教育課題に対する専門的な知識に関する知見を深めるとともに、議論を通して、教育課題の解決に関する方策等を検討する。	10/4, 10/11, 10/18, 10/25, 11/1, 11/8, 11/15			教育学学位プログラム (博士前期課程)	

専門基礎科目(学校教育・SL)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
OATAB02	学校心理学	1	2.0	1・2	春AB	水1,2	第二エリア	飯田 順子	授業の目標は、次の4つである。 1学校心理学の基礎概念について理解する。 2学校心理学が扱う領域に含まれる様々なトピックについて理解を深める(不登校、発達障害など)。 3学校心理学のなかで行われている最新の研究について学ぶ。 4心理教育的援助サービスの技法(アセスメント、カウンセリング、コンサルテーション)を学ぶ。 子どもが出会う問題状況の解決や成長の促進を目指す援助サービスの理論と実践を支える学問体系である学校心理学について、その理論や心理教育的援助サービスの実際について講義で学ぶと同時に、学校心理学の中心概念である「援助サービス」についてロールプレー等を交えて実践力を高める。	OATB132と同一。 対面(オンライン併用型)			教育学学位プログラム (博士前期課程)	
OATAB03	スクールリーダーシップ論	1	2.0	1・2	春AB	月1,2	第二エリア	濱田 博文	小・中・高等学校・特別支援学校等を組織として捉えることの意味を理解し、学校組織の特徴を踏まえた有効なリーダーシップのあり方について理論的・実践的な知見を獲得することを目標とする。具体的には、現代の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等における学校経営の課題を学ぶとともに、最近の研究成果に基づいて、学校組織の特性を踏まえたリーダーシップのあり方について考察する。学校を「組織」として捉える意義と、組織としての学校の特性・独自性を確かめ、実践事例を検討することを通じて、学校経営の改善を推進するために有効なリーダーシップの条件について考えたい。	対面			教育学学位プログラム (博士前期課程)	
OATAB04	青年の発達	1	2.0	1・2	秋AB	火1,2	第二エリア	佐藤 有耕	授業の目標は、次の3つと発展的な目標になる。 1青年、青年期、青年心理学についての理解を深めること 2青年心理学の研究パラダイムについて理解すること 3青年の発達を理解するための多様な観点を身に付けること 発展的には、青年の発達に関する学習を通して、青年に対する理解と支援の水準を向上させること。 このために、青年心理学に関する重要な文献を教材として、青年の発達に関する知見を深める。	小学校専修免許対応はR2年度以降の入学生のみ。 対面			教育学学位プログラム (博士前期課程)	
OATAB06	生涯学習論	1	2.0	1・2	秋AB	金3,4		上田 孝典	社会教育・生涯学習に関する最新動向について学ぶことで、年齢期だけでなく人生を通じた教育や学習の意義と役割について理解を深める。具体的には、社会教育法の改正、地方自治体における社会教育・生涯学習行政の改編、学校と家庭・地域の連携をめぐる政策動向、ボランティアや市民活動などの市民セクターによる住民自治や地域づくり実践、社会教育施設や職員の現状などについて理解を深める。また、UNESCOをはじめとする諸外国の生涯学習や途上国におけるノンフォーマル教育の実践的展開を踏まえながら、SDGsをめぐる将来展望についても考察する。	教室：人間系学系棟A425 対面			教育学学位プログラム (博士前期課程)	
OATAB11	学校の社会学	1	2.0	1・2	春AB	木3,4	第二エリア	太田 知彩	この授業では、エリート校を対象とした教育社会学の文献を精読し、学校を研究することの意義や方法論、困難性について学習する。また、教育格差とエリート教育という2つの視点から学校の在り方を議論していく。	対面			教育学学位プログラム (博士前期課程)	
OATAB12	学校安全と危機管理	2	2.0	1・2	夏季休業中 集中	集中	第二エリア	堀井 啓幸	学校における安全・危機管理の基本的事項や原理・原則を理解するとともに、子どもを取り巻く今日的な状況を踏まえた学校安全と危機管理の実践の在り方について考察することができることを目標とする。具体的には、今日、学校や教師が多様に求められている学校安全と危機管理について、その背景やリスク・マネジメント、クライシス・マネジメントの基本的事項を理解する。その上で、事例検討を通して学校安全と危機管理の在り方を受講生とともに考察したい。	小学校専修免許対応はR2年度以降の入学生のみ。 西暦奇数年度開講。 9/1-9/4			教育学学位プログラム (博士前期課程)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
OATAB14	学習指導と授業	1	2.0	1・2	春AB	木1,2	第二エリア	樋口 直宏	授業中の教師や児童・生徒の行動や思考を観察、分析することによって、すぐれた授業および指導方法の特徴について考察することを目的とする。これらを通して、授業を科学的に把握するための基礎的能力を育成したい。 本科目では、授業を構成する諸要素について、先行研究を参照しながらその概念を検討する。また、授業分析の歴史をはじめ、今日における授業分析法、刺激回想法、参与観察法等の諸方法を習得する。必要に応じて、小・中・高等学校等に赴いて観察や記録を行う機会を設けるとともに、これまでのVTRや授業記録も活用する。	小学校専修免許対応はR2年度以降の入生のみ。 対面			教育学学位プログラム (博士前期課程)	

専門基礎科目(学校教育・英語教育)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
OATAH03	英語教育内容論	1	2.0	1・2	春AB	木5,6	第二エリア	名畑目 真吾	第二言語理解や処理における特定の技能や要因に関する書籍・文献を講読し、第二言語理解や処理、その指導法について理解・議論する。具体的には、リーディングであればその認知処理や動機づけ、指導とカリキュラム、評価方法などについて扱う。また、そのような先行研究によって得られた知見をもとに国内の小学校、中学校、高等学校における英語教育の実践について理論的・批判的に捉え、英語教育における特定の技能や要因に関する自身の考えを深めることを目指す。	西暦奇数年度開講。 対面			教育学学位プログラム (博士前期課程)	
OATAH04	英語教育実践論	1	2.0	1・2	秋AB	金3,4	第二エリア	名畑目 真吾	英語教育の実践的な知識を学び、多様な指導環境や児童・生徒の学びの特徴について理解する。具体的には、国内の小学校、中学校、高等学校における英語教育の目標や教材について理解するとともに、各校種の授業見学あるいは映像視聴を行い、より良い英語授業の実践について理論的・批判的に自身の考えを深める。そして、模擬授業の設計、実施、振り返りを通して、各校種の英語の授業づくりと実践に必要な知識と技術を身に付けることを目指す。なお、学校現場への授業見学を行う場合は開講曜時間によらないので留意すること。	西暦奇数年度開講。 対面			教育学学位プログラム (博士前期課程)	

専門基礎科目(学校教育・芸術科教育)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
OATAJ03	芸術科教育実践論演習a	2	1.0	1・2	春AB	水3	体育・芸術エリア	石崎 和宏	近年の教育実践研究における質的研究の方法に注目し、その基本的概念と手順について理解を深め、芸術科教育での課題に対する各自の問題意識と対応させた方法を習得することを目標とする。そのために、芸術科教育実践における今日的な課題を解決するための質的アプローチの基本的概念について、仮説と理論の関係、リサーチクエスションの設定、分析ワークシートの作成、理論生成のプロセス等の視点から理解し、実践におけるさまざまな問題の背景要因の分析と問題解決のための理論モデル生成の手法について演習する。	西暦奇数年度開講。			教育学学位プログラム (博士前期課程)	
OATAJ04	芸術科教育実践論演習b	2	1.0	1・2	秋AB	水3	体育・芸術エリア	石崎 和宏	近年の教育実践研究における質的研究の方法に注目し、その基本的概念と手順について理解を深め、芸術科教育での課題に対する各自の問題意識と対応させた方法を習得することを目標とする。そのために、芸術科教育実践における今日的な課題を解決するための質的アプローチの基本的概念について、協調学習における理解深化プロセス、パフォーマンス評価による学びの可視化、対話型鑑賞における鑑賞者同士の学習支援等の視点から理解し、実践におけるさまざまな問題の背景要因の分析と問題解決のための理論モデル生成の手法について演習する。	西暦奇数年度開講。			教育学学位プログラム (博士前期課程)	
OATAJ07	芸術鑑賞論b-1	1	1.0	1・2	春AB	火3	体育・芸術エリア	石崎 和宏	人々は芸術品からの個人的な意味づくりをどのようにしているのか。この問いにかかわる鑑賞の機能や課題について考察する。対話型鑑賞の手法を通して、具体的な事例の分析を試みる。芸術鑑賞における「視覚」と「言葉」がどのように作用するのかが問いに関わる事例演習を通して、鑑賞の個人的な意味づくりについての議論を深めていく。	西暦奇数年度開講。			教育学学位プログラム (博士前期課程)	
OATAJ08	芸術鑑賞論b-2	1	1.0	1・2	秋AB	火3	体育・芸術エリア	石崎 和宏	人々は芸術をどのように理解するのか。その問いにかかわる研究成果を検討しつつ、美術教育における鑑賞教育の方法論を考察する。特に解釈や判断の思考過程に注目し、その過程で葛藤やジレンマ、意味の生成、語彙などを促す方法について検討する。さらに美術的思考の深化を促すプランを立案・実践し、議論する。	西暦奇数年度開講。			教育学学位プログラム (博士前期課程)	

専門基礎科目(国語教育)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
OATAD03	国語科教育史研究a	1	1.0	1・2	春AB	火5	第二エリア	長田 友紀	戦前の国語科の成立過程や歴史の経緯をみることで、国語科が本質的に抱える諸問題を理解していく。具体的には国語科教科書の成立過程や、読むこと・書くこと・話すこと・聞くこと・言語事項の代表的実践の歴史の変遷について様々な資料や調査・先行研究をもとにたどりながら検討する。	西暦奇数年度開講。 対面			教育学学位プログラム (博士前期課程)	
OATAD04	国語科教育史研究b	1	1.0	1・2	秋AB	火5	第二エリア	長田 友紀	戦後の国語教育の理論や実践を歴史的にみることで、国語科が本質的に抱える諸問題を理解しつつ、今後のあり方について討議する。具体的には国語科教科書や、読むこと・書くこと・話すこと・聞くこと・言語事項の代表的実践について様々な資料や、調査をもとにたどりながら検討する。	西暦奇数年度開講。 対面			教育学学位プログラム (博士前期課程)	
OATAD05	国語科教育実践論研究a	2	2.0	1・2	春ABC 夏季休業中	水6 集中	第二エリア	勝田 光	本科目は、国語科授業研究の目的と方法、歴史、データの分析方法について学んだ後、調査計画や実験授業を立案し、模擬授業も行う。附属学校で実施する実験授業と、その内容を分析して報告書『国語科授業分析演習』にまとめる「国語科教育実践論研究b」(OATAD06)の事前学習に位置づく科目である。	西暦奇数年度開講。 対面			教育学学位プログラム (博士前期課程)	
OATAD06	国語科教育実践論研究b	2	1.0	1・2	秋AB	水6	第二エリア	勝田 光	院生が立案した研究授業を実際の教室で実施する。実施後は、授業中の学習者のデータを記録・分析して報告書にまとめる。	実地指導を含む。 西暦奇数年度開講。 対面			教育学学位プログラム (博士前期課程)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
OATAD09	文学教育論a	1	1.0	1・2	春AB	月3		石塚 修	国語科教育、とくに中等教育における文学に関する教育についての基礎的な知見を身につけ、中等教育の教員として求められる資質を高める。具体的には、文学とはなにか(総論)、文学とはなにか(問題点)、文学を教育することの意義(総論)、文学を教育することの意義(問題点)、中学校における文学教育(総論)、中学校における文学教育(問題点)、高等学校における文学教育(総論)、高等学校における文学教育(問題点)などについて討議する。	実地指導を含む。西暦奇数年年度開講。対面		教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAD10	文学教育論b	1	1.0	1・2	秋AB	月3		石塚 修	国語科教育、とくに中等教育における文学に関する教育についての応用的な知見を身につけ、中等教育の教員として求められる資質を高める。具体的には、文学とはなにか(総論)、文学とはなにか(問題点)、文学を教育することの意義(総論)、文学を教育することの意義(問題点)、中学校における文学教育(総論)、中学校における文学教育(問題点)、高等学校における文学教育(総論)、高等学校における文学教育(問題点)などについて応用的な視点から討議する。	実地指導を含む。西暦奇数年年度開講。対面		教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAD13	国語科リテラシー教育論a	1	1.0	1・2	春AB	火2	第二エリア	島田 康行	国語教科書の教材を対象として、リテラシー教育の考え方について実践的に学ぶ。具体的には国語教育におけるリテラシーの考え方、学習指導要領にみるリテラシー教育の思想、国語教科書にみるリテラシー教育の可能性、「話すこと・聞くこと」の教材研究(1)中学校教科書から、「話すこと・聞くこと」の教材研究(2)高校教科書から、「書くこと」の教材研究(1)中学校教科書から、「書くこと」の教材研究(2)高校教科書から、「読むこと」の教材研究(1)中学校教科書から、「読むこと」の教材研究(2)高校教科書から、リテラシー教育の考え方に立つ国語教育の在り方などについて概観する。	対面		教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAD14	国語科リテラシー教育論b	1	1.0	1・2	秋AB	火2	第二エリア	島田 康行	教材開発の視点と方法を学び、国語科各領域のリテラシー教材開発を実践的に学ぶ。具体的には、リテラシー教育における教材の機能と役割、教材開発の視点と方法。「話すこと・聞くこと」の教材開発(1)プレゼンテーション、「話すこと・聞くこと」の教材開発(2)メディアの活用、「書くこと」の教材開発(1)説明と描写における修辞、「書くこと」の教材開発(2)論じるといふこと、「読むこと」の教材開発(1)近現代の文学的文章、「読むこと」の教材開発(2)古文・漢文、「読むこと」の教材開発(3)「実用的な文章」、総括-リテラシー教育の考え方に立つ教材開発のこれらについて討議する。	対面		教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAD28	現代日本語論IIa	1	1.0	1・2	春AB	金4		田川 拓海	日本語研究における語構成の位置付け・分析方法について、これまでの研究における取り扱いを整理する。また、自ら形態現象・語彙を分析する際のデータの収集・分析方法についても、コーパス等を用いた実際の作業を通して学ぶ。具体的には、形態論と文法・音韻論、日本語に特長ある語構成、語構成(1): 複合動詞、語構成(2): 動詞由来複合語、語構成(3): 複合動詞、語構成(4): 接辞と品詞、語構成(5): 語種と外来語研究、語構成(6): 外來語動名詞の分布と分類、コーパスを用いた形態論・語彙研究、などについて討議する。	西暦奇数年年度開講。対面		教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAD32	日本文学研究IIa	1	1.0	1・2	春AB	木5		吉森 佳奈子	虚構の物語作品である『源氏物語』が、注釈史のある時期に歴史記述によって注されてきた状況を具体的にみる。あわせて、『源氏物語』注釈書にのみ伝承される歴史記述のゆくりを見、官撰国史断絶後、歴史はどのように記されたかという問題についても考える。具体的には年代記類概説、官撰国史、類書と歴史記述。『二中歴』、『源氏物語』注釈書所引の歴史記述、『帝王編年記』、『源氏物語』注釈書所引の歴史記述、『神皇正統記』、などについて討議する。	場所は中央図書館古典研究室 西暦奇数年年度開講。対面		教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAD33	日本文学研究IIb	2	1.0	1・2	秋AB	木5		吉森 佳奈子	主として近代以降の『源氏物語』研究において、ジャンルが異なることから発注目されることのない『三教指帰』注釈書類が『源氏物語』注釈史の伝承と深くかかわることについて具体的に考察する。『源氏物語』が歴史記述によって注された問題を解きあかすことをこころみる。具体的には『源氏物語』注釈史概説、古注・旧注、『源氏物語』注釈と私撰国史、『一代要記』、『源氏物語』注釈と私撰国史、『一代要記』と『大日本史』、『源氏物語』注釈と『帝王編年記』、などについて討議する。	場所は中央図書館古典研究室 西暦奇数年年度開講。対面		教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAD36	日本文学演習IIa	2	1.0	1・2	春AB	木6		馬場 美佳	日本現代文学のうち主に昭和期の文学について学ぶ。対象とする作品について、担当者が語釈・注釈・先行研究の調査を行い、それに基づいて当該作品の文学的価値や諸問題について、全体で討議を行う。	西暦奇数年年度開講。対面		教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAD42	中国文学演習a	2	1.0	1・2	春AB	火5	第二エリア	稀代 麻也子	『芸文類聚』所収の作品を読む。	西暦奇数年年度開講。対面		教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAD43	中国文学演習b	2	1.0	1・2	秋AB	火5	第二エリア	稀代 麻也子	『芸文類聚』所収の詩を読む。	西暦奇数年年度開講。対面		教育学学位プログラム(博士前期課程)		

専門基礎科目(数学教育)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
OATAF01	基礎数学A	1	1.0	1・2	春A	水5,6	第二エリア	増岡 彰, 塩谷 真弘, 木下 保, 照井 章	高等学校で学ぶ数学より高い視点から深く理解し、自在に活用できる知識と技能を身に付けることを目標として、1変数関数の微分積分学や、数ベクトルと行列の理論について現代数学の立場から捉えなおす。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAF02	基礎数学B	1	1.0	1・2	春B	水5,6	第二エリア	塩谷 真弘, 増岡 彰, 木下 保, 照井 章	基礎数学Aの内容を前提として、引き続き微分積分学および線形代数の理論を現代数学の視点から捉えなおす。さらに、集合と写像の基本的な事項のような抽象的な内容も扱い、数学的な考え方をさまざまな場面で活用する力を身に付けることも目標とする。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAF03	基礎数学C	1	1.0	1・2	春C	水5,6	第二エリア	塩谷 真弘, 増岡 彰, 木下 保, 照井 章	基礎数学A・Bの内容を前提として、引き続き微分積分学および線形代数の理論を現代数学の視点から捉えなおす。数論の基礎や抽象ベクトル空間論のような、体系的な理論の学習を通じて、論理的に考え判断する能力を獲得することを旨とする。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
OATAF04	総合数学A	2	1.0	1・2	秋A	水3,4	第二エリア	竹山 美宏, 木下 保, 照井 章, 塩谷 真弘, 増岡 彰	数学のより深い理解を目指して、中学校および高等学校で学ぶ数学に関連する興味深いテーマについて専門的に学習する。講義および演習を行い、数学的な内容を表現する能力を身につけることも目標とする。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAF05	総合数学B	2	1.0	1・2	秋B	水・金4	第二エリア	竹山 美宏, 木下 保, 照井 章, 塩谷 真弘, 増岡 彰	数学のより深い理解を目指して、線形代数や微分積分学など、大学初年級で学ぶ数学に関連する話題についてより深い視点から論じる。演習もを行い、やや高度な議論を正確に展開する能力を身につけることも目標とする。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAF06	総合数学C	2	1.0	1・2	秋C	水4, 金5		竹山 美宏, 照井 章, 木下 保, 塩谷 真弘, 増岡 彰	数学のより深い理解を目指して、現代的な数学・幾何学・解析学・情報数学におけるやさしい話題を取り上げ、講義および演習を行う。この学習を通じて数学的思考の有用さを理解し、創造性を養うことも目標とする。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAF07	現代数学基礎A	1	1.0	1・2	秋A	月3,4	第二エリア	川村 一宏, 木村 健一郎, 竹山 美宏	現代数学において重要なトピックを取り上げ、講義・演習を行う。現代数学の諸分野を概観し、バランスの取れた数学観を身につけることを目標とする。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAF08	現代数学基礎B	1	1.0	1・2	秋B	月3,4	第二エリア	川村 一宏, 木村 健一郎, 竹山 美宏	中学校および高等学校で学ぶ数学とつながる現代数学の話題について講義と演習を行う。やや高度な内容を主体的に学ぶことによって、より高い数学観を得ることを目指す。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAF09	現代数学基礎C	1	1.0	1・2	秋C	月3,4	第二エリア	川村 一宏, 木村 健一郎, 竹山 美宏	現代数学における興味深いテーマについて、講義・演習によって基礎から発展まで体系的に学ぶ。論理的な思考力や時間をかけて考え抜く力を養い、積極的に活用できるようになることを目標とする。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAF10	現代数学特別研究A	2	1.0	1・2	春A	金4,5	第二エリア	竹山 美宏, 木村 健一郎, 川村 一宏	数学のより幅広い理解を目指していくつかの主題について専門的に講義し、併せて数学的内容の説明の仕方について学ぶため、学生の発表および発表後のレポートをもとにして数学のわかりやすい題材を取り扱う。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAF11	現代数学特別研究B	2	1.0	1・2	春B	金4,5	第一エリア	竹山 美宏, 木村 健一郎, 川村 一宏	現代数学特別研究Aを前提として、数学のより幅広い理解を目指す。いくつかの主題について専門的に講義し、併せて数学的内容の説明の仕方について学ぶため、学生の発表および発表後のレポートをもとにして数学のやや進んだ題材を取り扱う。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAF12	現代数学特別研究C	2	1.0	1・2	春C	金4,5	第一エリア	竹山 美宏, 木村 健一郎, 川村 一宏	現代数学特別研究A・Bの内容を前提として、数学のより幅広い理解を目指す。いくつかの主題について専門的に講義し、併せて数学的内容の説明の仕方について学ぶため、学生の発表および発表後のレポートをもとにして数学の発展的な題材を取り扱う。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAF13	現代数学特別研究D	2	1.0	1・2	通年	応談		木村 健一郎, 竹山 美宏, 川村 一宏	基礎数学A・B・Cおよび現代数学特別研究A・B・Cの内容を前提として、数学の幅広い深い理解を目指す。いくつかの主題について専門的に講義し、併せて数学的内容の説明の仕方について学ぶため、学生の発表および発表後のレポートをもとにして数学のより進んだ話題を取り扱う。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAF14	現代数学特別研究E	2	1.0	1・2	通年	応談		木村 健一郎, 竹山 美宏, 川村 一宏	基礎数学A・B・Cおよび現代数学特別研究A・B・C・Dを前提として、数学のより幅広い理解を目指す。いくつかの主題について専門的に講義し、併せて数学的内容の説明の仕方について学ぶため、学生の発表および発表後のレポートをもとにして数学のやや高度な話題を取り扱う。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAF15	現代数学特別研究F	2	1.0	1・2	春C	集中		木村 健一郎, 竹山 美宏, 川村 一宏	現代数学の高度な話題について、講義・問題演習・輪講などを通して基本的な内容から学習し、数学をより幅広く理解することを目標とする。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAF16	数学教育研究方法論	1	2.0	1・2	春AB	木1,2	第二エリア	清水 美憲	数学教育における教授・学習に関する研究方法の理論的前提や認識論的立場について、研究事例の批評を通して検討する。授業の前半では、質的データの採取及び分析における前提、手法の意義と限界について学ぶとともに、最近のいくつかの研究事例について批判的に検討する。授業の後半では、数学科授業の分析に焦点化し、国際比較研究「学習者の観点からの授業研究(LPS)」による授業・インタビュデータの分析を事例として、数学科の授業の実証的研究における質的研究方法の意義と限界を探る。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAF17	数学教育学習論	1	2.0	1・2	秋AB	木3,4	第二エリア	清水 美憲	1970年代から今日までにいたる数学の学習に関する実証的研究の動向についてのその概略を講義するとともに、各時代の研究論文を読んで、その研究方法および見解を知る。特に、数学学習における内的理解と外的理解の問題、手続き的知識と概念的知識の関係及びその乖離の問題、数学の問題解決論と数学学習の問題、数学の信念システムやメタ認知の問題、そして教室における学習と社会的・数学的規範の役割、学習における文化的要因の影響を中心に研究事例を検討する。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAF18	数学教育カリキュラム論	1	2.0	1・2	秋AB	火3,4	第二エリア	蒔苗 直道	数学教育におけるカリキュラム開発について、文献講義を通して考察する。この過程で、数学教育研究における基礎的用語や基本概念を理解するとともに、数学の指導内容やその取扱いについて学習する。また、数学のカリキュラムの構成原理や数学教育思想など幅広い視点からの考察を行い、日本の学習指導要領の変遷や海外のスタンダード、ナショナルカリキュラムなど実際の数学のカリキュラムを対象に、その学術的な分析や考察ができるよう、数学教育研究の基礎としてカリキュラム開発の理解を深める。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
OATAF19	数学教育内容論	1	2.0	1・2	秋AB	木1,2	第二エリア	小松 孝太郎	数学者、数学家、数学教育の三領域において突出した業績をあげたH.Freudenthalの数学的活動論を前提に、数学化を解説し、再組織化による指導系統こそが、教育課程の系統をなすことを確認する。そこでは内容上の矛盾が現れ、生徒のつまずき、それを解消する弁証法的対話も起こり得る。本講義では、内容にかかわる研究成果と教科書分析を通して、小学校から高等学校までの算数・数学教材を深める。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		

専門基礎科目(理科教育)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
OATAG06	基礎物理学1	1	1.0	1・2	春AB	月3	第二エリア	森下 将史	教育現場における生徒の物理学への苦手意識払拭の一助として、理科教員を目指す学生に物理学の面白さを伝えることを目的とした講義を行う。物質の成り立ち、光の性質、力学、熱力学、電磁気学、原子物理学、天文学、素粒子物理学、物性物理学などのテーマについて、まず、物理学における基本概念と基本原則の誕生と変遷に注目して講義を行う。また、この中で、中等教育では触れられない、高度ではあるが興味深い現象や概念についても講義を行う。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAG07	基礎化学1	1	1.0	1・2	春AB	火2	第二エリア	佐藤 智生、一戸雅聡、長友 重紀	高校化学を教えるために必要な化学の基礎的な知識を修得できるように、周期表、原子と分子の構造、化学結合、物質、気体の状態方程式、エンタルピー、物質の三態、溶液と固体の性質など化学の基礎となる項目を講義する。	基礎化学2も受講することが望ましい。		教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAG08	基礎生物学1	1	1.0	1・2	春AB	火4	第二エリア	中山 剛、出川 洋介、石川 香	分子生物学、形態、生殖、進化、分類、生態などの基礎生物学の内容を、中高生に分かりやすく説明できるようにする。また、基礎生物学分野の研究がもたらす社会的側面についても理解し、討論できるようにする。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAG09	基礎地学1	1	1.0	1・2	春AB	火5		角替 敏昭、上松 佐知子	理科の教員として必要な地学の基礎的な知識の習得のため、地球史、生命史、大陸形成史の基礎的な内容について講義する。授業の前半は、生命の誕生以降の地球の歴史と生物の進化およびそれらの相互作用によって作られてきた地球表面史を俯瞰する。また基本的な化石標本の調査と処理および同定記録。ならびに層序対比、古生物地理、機能形態解析、系統樹作成を含めた進歩論、化石成因論、古生態復元、古環境復元、化学化石分析などの具体的な研究例に基づき、実際の研究を行う上で必要な概念と手法を理解する。後半は、地球を構成する岩石のうち、特に火成岩と変成岩について、基礎的な分類から、その生成過程、起源、テクトニクス等に焦点を当てて講義する。本授業により、知識と理解力および問題解決能力を向上させる。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAG10	基礎物理学2	1	1.0	1・2	秋AB	月3	第二エリア	中務 孝、森 正夫	中等教育における物理学の教員が背景知識として習得していることが望ましい。高度ではあるが興味深い現象や概念について講義する。題材として、結晶構造、相対性理論、フーリエ変換、数の概念、準周期系、カオス、エントロピー、トポロジー、フラクタル、などを扱う。ここでは特に、物理学と密接な関わりをもつ数学との関係に注目し、数学者が作り上げた抽象的な概念を物理学者が如何に現実の現象に応用してきたかを講義し、高度な現象や概念の理解を目指す。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAG11	基礎化学2	1	1.0	1・2	秋AB	火2	第二エリア	佐藤 智生、一戸雅聡、長友 重紀	高校化学を教えるために不可欠な化学の基礎的な知識を修得できるように、基礎化学Iに引き続き、化学平衡、酸と塩基、緩衝作用、酸化と還元、電池、化学熱力学、エントロピー、反応速度、活性化エネルギー、核化学、原子核、同位体、有機化学、立体化学、化学分析、クロマトグラフィーなど化学の基礎となる項目を講義する。	基礎化学1を受講していることが望ましい。		教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAG12	基礎生物学2	1	1.0	1・2	秋AB	月5	第二エリア	澤村 京一、八畑 謙介、横井 智之	理科の教員として必要な生物学の基礎的な知識を習得するため、動物生態学、保全生態学、遺伝学、進化学、動物系統分類学、動物形態学の基礎的な内容について講義する。			教育学学位プログラム(博士前期課程)		
OATAG13	基礎地学2	1	1.0	1・2	春C	月3,4		興野 純、藤野 滋弘	理科の教員として必要な地学の基礎的な知識の習得のため、地層学・層序学、鉱物学の基礎的な内容について講義する。授業の前半は堆積岩・堆積物の分類や生成過程、それらに記録された情報を読み取る手法を講義する。また、様々な種類の層序学的手法を用いて地層を対比し年代の新旧を知る方法についても解説する。授業の後半では、石英・長石・かんらん石・輝石などの主要な造岩鉱物の性質や、炭酸塩岩や土壌を構成する各種鉱物の性質について講義する。本授業により、知識と理解力および問題解決能力を向上させる。			教育学学位プログラム(博士前期課程)	○	

専門基礎科目(国際教育)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
OATAL22	Education in Japan: Principles Policies and Practice	1	1.0	1・2	春AB	NT		藤田 兎之、藤井 穂高、朝倉 雅史、タスタンベコワ クアニシ、清水 美憲、遠藤 優介、川上 若奈、京免 雄雄、菊地 かおり、田中 正弘、梅津 静子	現代日本の教育をめぐる論点を政策、制度、実践といった多角的な視点から理解し、またその課題について十分な知識をもとに論じることができるようになることを目標とする。授業では、日本の教育をめぐるさまざまなテーマを取り上げ、その原理、政策、実践を概説する。具体的には、教育制度、教師教育、幼児教育、数学教育、理科教育、言語教育政策、道徳教育、特別活動、シタイズメント教育、高等教育をテーマとし、近年の改革動向とその課題を提示する。授業の内容をもとに討論を行い、論点についての理解を深める。なお、主として英語で授業を行う。	英語で授業。オンライン(オンデマンド型)		教育学学位プログラム(博士前期課程)	○	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン	
OATAL23	Frontier of Educational Research		1	1.0	1・2	秋AB	月3	第二エリア	梅津 静子, 古田 雄一, 藤田 晃之, 遠藤 優介, 川上 若奈, 勝田 光, 小松 孝太郎, 田中 正弘	教育学の研究に関する動向と最前線に関して論議を行う。特に、国際的な動向を考慮して、解説と討議を行う。課題の発表や協働学習も行う。国際的に用いられている教育学の概念の検討、授業研究、社会学的研究、国際機関や諸外国の教育施設、学校経営やキャリア教育の国際比較、日本の教育実態に関する海外への発信、教育の実践の分析といったトピックについて学び、受講生の知識と研究能力を向上させる。	授業の使用言語：英語（ただし日本語による補足解説あり） この授業は英語で行われるが、日本語による解説も受講者の希望やニーズに応じて加えられる。このため、英語話者だけではなく、日本語話者の授業の履修も推奨される。研究成果の海外における発表を希望する学生は受講してほしい。国際教育SPの学生だけでなく、教育基礎科学SP、次世代学校教育創成SP、博士後期課程の学生の履修も歓迎する。 英語で授業。			教育学学位プログラム（博士前期課程）	
OATAL26	Immigrant Children, Youth and Education		2	2.0	1・2	春AB秋AB	火4	第二エリア	徳永 智子	多文化化が進化する社会において、移民の子ども・若者を取り巻く社会的・文化的文脈を考察し、文化のはざま、帰属、トランスナショナルリズム、文化に対応した教育（CRP）、地域支援などのキーワードを掘り下げながら、かれらの多様なアイデンティティや経験への理解を深めることを目的とする。また、移民の子ども・若者について描かれた質的調査による論文・文献を講読し、研究方法論についても検討する。毎回受講生が発表し、全員で討論するため、積極的な参加が求められる。	英語で授業。			教育学学位プログラム（博士前期課程）	
OATAL27	Education in Japan: Principles Policies and Practice		4	1.0	1・2	秋AB	NT	藤田 晃之, 藤井 穂高, 朝倉 雅史, タスタンベコフ クアニシ, 清水 美憲, 遠藤 優介, 川上 若奈, 京免 徹雄, 菊地 かわり, 田中 正弘, 梅津 静子	現代日本の教育をめぐる論点を政策、制度、実践といった多角的な視点から理解し、またその課題について十分な知識をもとに論じることができるようになることを目標とする。授業では、日本の教育をめぐるさまざまなテーマを取り上げ、その原理、政策、実践を概説する。具体的には、教育制度、教師教育、幼児教育、教育学教育、理科教育、言語教育政策、道徳教育、特別活動、シティズンシップ教育、高等教育をテーマとし、近年の改革動向とその課題を提示する。授業の内容をもとに討論を行い、論点についての理解を深める。なお、主として英語で授業を行う。	OATAL22との重複履修不可。 英語で授業。 短期留学生向け科目。 英語で授業。 遠隔授業。オンライン（オンデマンド型）	△	短期留学生向けのため	教育学学位プログラム（博士前期課程）		

心理学学位プログラム(博士前期課程)

専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
OATB060	心理統計学基礎		1	2.0	1	春AB	金7.8	藤 桂	社会科学における統計学の用い方の基礎を解説する。本講義は、「社会調査法」「データ解析法」履修のための基本要件である。	OATD321と同一。オンライン(同時双方向型)			心理学学位プログラム(博士前期課程)	○
OATB082	行動デザイン特講		1	2.0	1・2	秋AB	火5.6	松田 壮一郎	人間行動の記述、予測、制御を目的とした応用行動分析学を中心に据え、「行動」の機能を分析することを通じた目標とする。また、最新の発達研究を行動分析的観点から読み解くことにより、新たな研究パラダイムを創出することも目的とする。行動変容に用いることができる最新のテクノロジーを概観すると共に、他分野(医学・工学など)との協働を通じた新しい研究、及びビジネスの可能性を、ディスカッションを通じて探っていく。他分野との協働により、人の行動変容について、新たな視点を提供する、行動のデザインを共に創造していく。	対面			心理学学位プログラム(博士前期課程)	
OATB085	計量心理学特講		1	2.0	1・2	春AB	金1.2	山口 一大	計量心理学・心理統計学に関わる英語論文・洋書等を精読し、計量心理学・心理統計学への理解を深め、自身の研究に活かせるようにする。受講生は、英語論文を選択し(洋書の場合には割り当てられた章について)、内容を適切に要約したレジュメを作成し、発表を行い、受講者全員で議論を行う。自分が発表する回以外であっても、発表される文献を熟読し、理解できた点のみならず、疑問点やわからなかった点を整理して講義に臨む。	オンライン(同時双方向型)			心理学学位プログラム(博士前期課程)	○
OATB091	社会心理学特講		1	2.0	1・2	秋AB	木3.4	川上 直秋	社会心理学に関する最近5年以内に掲載された英語論文を受講生が紹介し合い、この分野についての理解を深め、受講生の研究テーマへの適用可能性を探る。受講生は、自分の研究テーマと関連のある社会心理学論文を選び、過去の理論的背景も含めたレジュメを作成・発表する。それに基づき、ほかの受講生と議論を行い、社会心理学の方法論・理論の習得を目指す。	対面			心理学学位プログラム(博士前期課程)	
OATB132	学校心理学特講(教育分野に関する理論と支援の展開Z)		1	2.0	1・2	春AB	水1.2	第二エリア 飯田 順子	授業の目標は、次の4つである。 1学校心理学の基礎概念について理解する。 2学校心理学が扱う領域に含まれる様々なトピックについて理解を深める(不登校、発達障害など)。 3学校心理学のなかで行われている最新の研究について学ぶ。 4心理教育的援助サービスの技法(アセスメント、カウンセリング、コンサルテーション)を学ぶ。 子どもが出会う問題状況の解決や成長の促進を目指す援助サービスの理論と実践を支える学問体系である学校心理学について、その理論や心理教育的援助サービスの実際について講義で学ぶと同時に、学校心理学の中心概念である「援助サービス」についてロールプレー等を交えて実践力を高める。	OATB02と同一。対面(オンライン併用型)			心理学学位プログラム(博士前期課程)	
OATB134	キャリアカウンセリング特講(産業・労働分野に関する理論と支援の展開X)		1	2.0	1・2	秋AB	土4.5	尾野 裕美	キャリア・カウンセリングの基礎である「キャリアの心理学」を概説し、その理論的背景であるキャリア関連の諸理論・アプローチを紹介する。さらに実際のキャリア・インタビューを通じて、諸理論・アプローチの現実への応用についてグループ毎に整理し、全体発表・討議を実施する。	OATD308と同一。対面			心理学学位プログラム(博士前期課程)	

障害科学学位プログラム(博士前期課程)

専門科目(共通)_障害科学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
OATC1C1	知的・発達障害心理学特講		1	2.0	1・2	秋AB	水3,4	小島 道生	知的障害、自閉スペクトラム症、学習障害、ADHDなどについて、発達のメカニズムをふまえながら、認知、言語、記憶、情動といった心的機能の特性と、有効な指導法を講義する。また、知能検査を中心としたアセスメント結果を発達支援に結びつける考え方などについて、事例の検討も交えながら講義・演習を行う。	教室は人間A201。状況によってはオンライン(オンデマンド型・同時双方向型)を併用する可能性がある。実務経験教員、対面			障害科学学位プログラム(博士前期課程)	
OATC1C2	知的・発達障害指導法特講		1	2.0	1・2	春AB 春C	木1 木1,2	岡崎 慎治, 丹治 敬之	知的障害、発達障害の発達支援に必要な教育心理学および発達心理学の基礎について講義する。典型的な発達と知的障害、発達障害の異同について説明し、能力の水準に応じて考えるべき問題と、能力の水準に関係なく蓄積されていく知識や経験の区別について講義する。さらに、知的障害、発達障害の能力の水準、認知能力の特徴に応じた適切な指導について理解する。	教室は人間A201。状況によってはオンライン(オンデマンド型・同時双方向型)を併用する可能性がある。実務経験教員、対面			障害科学学位プログラム(博士前期課程)	
OATC1E1	障害学生支援学特講		1	1.0	1・2	春AB	月5	名川 勝, 岡崎 慎治, 小淵 千絵, 佐々木 銀河, 佐島 毅	高等教育機関における障害学生支援に関わる理念ならびに関連法案について講述する。また、支援対象となる障害種(視覚、聴覚、運動、発達障害等)ごと、支援領域(時系列的理解、バリア解消、生活、就職ほか)ごとに支援方法を検討する。大学等の高等教育機関における障害学生の支援について、支援対象となる障害と支援のあり方について習得することを目標とする。また、障害学生や支援学生にも参加してもらい、障害学生支援について具体的な理解をはかる。学校教育場面において必要とされる臨床発達心理学的評価の諸方法について、その理論と具体的な技法について理解することを目標とする。	教室は人間A201 実務経験教員、対面 (オンライン併用型)			障害科学学位プログラム(博士前期課程)	